

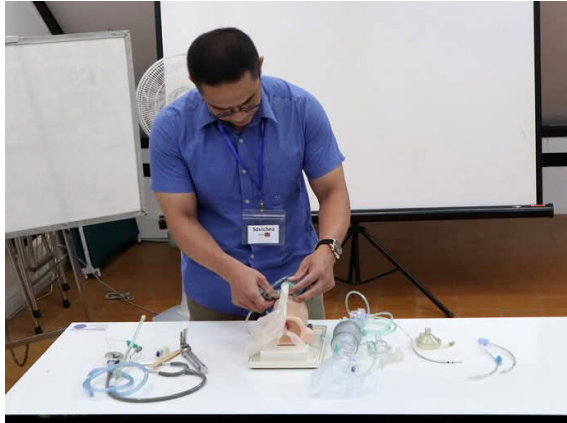
2024年度の進捗

1. 熟練の医療従事者の育成

- 医師・看護師の育成：

- 一 医師の国内研修：

カンボジア人医師2名がカンボジア国内の医療機関（アンコール小児病院）にて臨床研修を実施しました。臨床研修の内容は小児救急救命処置に関するトレーニングプログラムが行われ、小児特有の状況に対応するための知識や技術習得につながりました。



- 一 医師の国際がん学会への参加：

日本（横浜）で開催された国際小児がん学会アジア大会（SIOP Asia）へ、ジャパンハートの現地医師2名が参加しました。学会にて症例発表を行うとともに、医療者との交流を通じて、多くの学びと刺激の機会になりました。



- 放射線技師の採用：現地人技師の採用活動につきましてカンボジアで主流となるSNSを活用した採用活動をメインに教育機関への声掛け等も行っていますが、カンボジアでは放射線技師を育成する教育機関が限られ、人材も少ないため、採用が難しい状況です。引き続き様々な方法で採用活動を進めるとともに院内でのスタッフ育成も含めて検討していきます。

2. 農村部の医療アクセスの改善

- 2024年度はジャパンハート子ども医療センターから2時間ほど離れたクロッチュマー地区とチャムカラー地区の農村部にある2施設の病院に計5回医療スタッフを派遣し、無償の診療（317名）および手術（85件）を提供しました。診療を通して患者さんへの疾患啓発を行うことで、悪化を予防するとともに、手術適応となる患者さんには現地スタッフと協力して手術を実施し、これまで手術が難しかった患者さんを救うことに繋がっています。また、現地スタッフとの協力により医療活動を行うことで医療従事者育成にも貢献し、患者さんや地域の方々からの医療への信頼も少しずつ得られています。



3. 高度医療設備の拡充

- 2023年度は外科手術用X線撮影装置（Cアーム）を導入し、2022年度に完成したX線対応の手術室に設置しました。そのほか、備品の準備や、研修を実施するなど体制を整え、2024年1月より本格的に稼働を開始しました。これまで設備がないことで手術を行うことが困難だった患者さんへの医療提供が可能となり2025年度も多くの患者さんに役立てられています。



<当社が支援するプログラムの進捗>

取り組み	目標 (2022年度～2026年度)	2022年度 (～2023年3月)	2023年度 (2023年4月～2024年3月)	2024年度 (2024年4月～2025年3月)	状況
熟練の医療従事者の育成	● 医師の育成				
	来日研修：1名	医師1名が、日本の医療機関にて5か月間の臨床研修を実施	—	—	Completed
	カンボジア他院での研修：2名	—	医師1名がカンボジアの医療機関にて3ヶ月間の麻酔の臨床研修を実施	医師2名がカンボジアの医療機関にて研修を実施	Completed
	国際がん学会への参加：5名	医師1名が、シンガポールの学会へ参加	医師2名が、シンガポールの学会へ参加	医師2名が、日本で開催された国際小児がんの学会へ参加	Completed
	● 看護師の育成				
	カンボジア他院での研修：5名	—	—	—	—
	国際がん学会への参加：5名	看護師2名が、シンガポールの学会へ参加	看護師1名が、シンガポールの学会へ参加	—	on schedule
	● 放射線技師の採用：1名	放射線技師の採用活動を開始	放射線技師の採用活動継続中	放射線技師の採用活動継続中	—
農村部の医療アクセスの改善	● 無償巡回診療 ● 月1回（～2024年3月）	無償の巡回診療を3回実施し、143人に無償診療を提供。	無償の巡回診療を7回実施し、522人に無償診療を提供	—	Completed
	● 無償出張診療・手術 ● 年8回の派遣実施、手術件数：50件の実施（2024年4月～プログラム終了まで）	—	—	2つの農村地区（クロッチュマー・チャムカルー）へ出張診療を計5回実施し、317名の診療と85件の手術を実施	on schedule
高度医療設備の拡充	● X線透視室を導入	X線透視設備の導入に向け、手術室の工事が完了	X線透視機器（Cアーム）の設置および稼働に伴う防護服等の準備が整い、2024年1月より稼働	適応となる患者にて稼働	Completed